

100歳の誕生日を迎えた4人を紹介します。
7月30日から対象者が明治から大正生まれに変わりました。

■鬼柳文さん



おにやなぎ・あや
■誕生日_大正元年8月26日
■住所_真柴
■撮影日_8月24日
■場所_一関ロイヤルハウス(真柴)

くよくよせず、マイペースに過ごす

文さんは、青森県八戸市出身。奥州市に眼科医を開業しました。思いやりがあり、おだやかな文さん。新聞を読んだり、大好きな花を眺めたりして暮らしています。

8月24日、入所する福祉施設で大好きな甘いケーキを前に笑みがこぼれました。

■小野寺ゑそのさん



おのでら・えその
■誕生日_大正元年9月1日
■住所_川崎町薄衣
■撮影日_9月1日
■場所_寿松苑(川崎町薄衣)

元気で丈夫、農業一筋で働く

子7人、孫18人、ひ孫23人、やしやご3人に恵まれたゑそのさん。22歳で丈吉さんと結婚して農業一筋で働きました。若いころから元気で、大きな病気はしませんでした。

9月1日、家族が集まって祝福。会いに来てくれることを楽しみにしていたゑそのさんはうれしそうでした。

■千葉輝子さん



ちば・てるこ
■誕生日_大正元年8月24日
■住所_藤沢町増沢
■撮影日_8月25日
■場所_老健ふじさわ(藤沢町藤沢)

ゲートボール、陶芸、読書が好き

輝子さんは、18歳で胤男さんと結婚。子4人、孫6人、ひ孫5人がいます。ゲートボール、陶芸、読書が好きで、よく直木賞作家の小説を読んでいた。

8月25日、子と孫14人が集まって輝子さんを祝福。花束を手に「うれしい」とほほ笑みました。

■佐藤ほすよさん



さとら・ほすよ
■誕生日_大正元年9月1日
■住所_藤沢町藤沢
■撮影日_9月3日
■場所_老健ふじさわ(藤沢町藤沢)

野菜中心の食事で病気知らず

ほすよさんは、26歳で長治郎さんと結婚。子は3人、孫は9人、ひ孫は15人です。野菜作り、キノコ採り、クリ拾いをして野菜中心の食事を心掛けました。裁縫が得意です。

9月3日、入所する福祉施設に家族が集まり、百歳を祝う花束が贈られました。

地ビールフェスティバルに全国から1万7,560人が来場

24.Aug 2012



④おいしい地ビールを手に乾杯する来場者/⑤ビールを注ぐスタッフもにっこり/⑥地ビールを味わおうと詰めかけたファンは3日間で1万5,760人。ブース前は長蛇の列に

第15回「全国地ビールフェスティバルin一関」は8月24日から26日まで一関文化センター前広場で開かれ、全国から集まった地ビールファンらが個性豊かな味わいを楽しみました。

例年多くのビール党でにぎわう同フェスティバル。今年は海外メーカーを含む過去最多の72社が参加。時間帯別に約150銘柄を販売しました。各ブースとも全国や世界の味を楽しもうという人で長蛇の列ができるにぎわいを見せ、3日間で1万7,560人が8,780杯を飲み干しました。

た。来場者数、販売量とも過去最高でした。

おつまみコーナーは、地元特産の食材を使った「ナスとピーマンのチンジャオ」や「いちのせきハラミ焼」など多彩なメニューを提供。特設ステージでは、ライブやオークションなどさまざまな催しが繰り広げられました。

新潟市から初めて訪れた清水勇太郎さん(31)は「いろいろな味が楽しめました。今年は日帰りで参加しましたが、来年は泊まり掛けで来ます」と話していました。

全日本空手大会で千葉君が3位入賞

26.Aug 2012



⑥全国3位の入賞報告に市役所を訪れた千葉蒼生君/⑦全国大会に出場した本市の若き空手家たち。左から高橋光君、千葉君、新田珀君の3人

東京・代々木体育館で8月26日に開かれた「第28回全日本硬式空手道選手権大会」小学2年生の部に出場した本市の千葉蒼生君(スポーツ少年団龍武会所属・萩荘2年)が3位に入賞しました。

日本一を目指す蒼生君は、得意の「蹴り」に加え、「突き」を強化して全国に臨みました。全国の精鋭を撃破して勝ち進んだ準決勝は、あと一歩及ばず敗れましたが、堂々全国3位に入賞しました。

同会からは同じ小学2年生の部に

高橋光君(山目2年)と小学1年生の部に新田珀君(松川1年)も出場。2人は惜しくも初戦で敗れましたが、果敢な攻めで次につながる戦いを見せました。

蒼生君、母親の明子さんと龍武会代表師範の西條龍飛さんは9月10日、市役所を訪れ、勝部修市長に入賞を報告しました。蒼生君は「次は優勝できるように頑張ります」と決意を新たに。勝部市長は「新たな目標に向かって、さらに腕を磨いてください」とエールを送りました。

工房てんとう虫が10周年作品展を開催

22.Aug-17.Sep 2012



65点の絵画が並んだ作品展。多くの人を訪れました

障がい者向け地域活動支援センター「工房てんとう虫」(木村静恵所長)の10周年作品展「てん10展」(てん・てん・てん)は8月22日から9月17日まで、川崎公民館2階ギャラリーで開かれました。

今回展示されたのは、同工房や市主催の障がい者デイケア教室で工房メンバー、元メンバーらがこれまで製作した絵画約500点から選んだ65点

です。

10年間で作成された絵画を並べることで、同工房のこれまでを振り返ろうと企画された今回の展示会。作者の心の動き、表現の変化も一緒に感じてほしいからと作品選びには苦労したそうです。

木村所長は「12月に開く展示会に向けて新作に取り組み始めた人もいます」と話していました。